

	健康		
	人	地域	まち（市）
実現に必要な取り組み	規則正しい生活 <ul style="list-style-type: none"><li>・早寝早起き朝ごはん（朝食をしっかり摂る、睡眠時間の確保）</li><li>・食育（大人への教育、家庭での習慣付け、口腔衛生、咀嚼・食事の取り方を教える）</li></ul>	社会参加を促す <ul style="list-style-type: none"><li>・サークル活動やボランティア活動など、生きがいを見つけ、参加する</li><li>・引きこもらせない</li><li>・人が外に出ていきたくなる機会をつくる（イベント、無料の〇〇など魅力的なプランを企画、炊き出し・試食会、子どもと一緒にイベント、子どもをキーにして大人・高齢者同士をつなげる、ソフトボール、ゲートボール、情報）</li><li>・ぶらぶら歩きができる場所をつくる（車が入ってこられない歩行者専用のエリア、興味を持って入ってみたいくなる施設）</li><li>・男女共同参画（男性の家事参加、男女とも生涯現役）</li></ul>	情報提供・啓発 <ul style="list-style-type: none"><li>・知識を提供する体制づくり（意識を変え、実行に移す啓蒙活動、セミナーのネット配信、情報を広める工夫、学習漫画）</li></ul>
	フレイル予防 <ul style="list-style-type: none"><li>・本人が気付けるきっかけや情報を与える（セルフチェックが気軽に行えるようにする、家庭でできる運動を教える）</li><li>・健康づくりを促す工夫（体操にポイント付与など）</li></ul>		
	生活習慣病予防 <ul style="list-style-type: none"><li>・世代別年代別の健康課題に対応（ライフステージ別の対策、若い頃からの生活習慣病対策）</li></ul>		
	心の健康 <ul style="list-style-type: none"><li>・引きこもり対策（生きがいを与える）</li><li>・ストレス予防を教える場所がある</li></ul>		
	スマートフォンのやりすぎ注意 <ul style="list-style-type: none"><li>・長時間のスマホ防止のチェックリスト作成</li></ul>		



	健康		
	人	地域	まち（市）
市民にできること	生活習慣病予防 <ul style="list-style-type: none"><li>・規則正しい生活（年齢によって異なる）</li><li>・定年後の健康管理</li><li>・年代別の健康管理</li><li>・セルフチェックにもインセンティブを</li></ul>	社会参加を促す <ul style="list-style-type: none"><li>・出前講座の活用</li><li>・行政と地域をつなぐ指導員</li><li>・行政と市民をつなぐサポーターを</li><li>・サポーターにもインセンティブを</li></ul>	検診受診率向上のための取組 <ul style="list-style-type: none"><li>・検診率向上のためのサポーター</li><li>・企業ではトップダウンで</li><li>・健康マイレージ 検診率向上のため</li><li>・地域のリーダー主導</li></ul> 情報提供・啓発
行政にできること	生活習慣病予防 <ul style="list-style-type: none"><li>・健康マイレージ（ポイント付与）←アッピー体操参加等で</li><li>・健康マイレージ（インセンティブ）←意識改革のきっかけ</li><li>・ポイントがたまれば必ずもらえる（インセンティブ）</li><li>・生活するだけで健康に過ごせる仕組みを</li></ul>	社会参加を促す <ul style="list-style-type: none"><li>・サポーター養成のきっかけづくり</li></ul> 健康経営	情報提供・啓発 <ul style="list-style-type: none"><li>・生活習慣病予備軍への通知</li><li>・検診を促す通知（ターゲットを絞る）</li><li>・予防医学の啓発イベント実施</li><li>・場所の提供</li><li>・双方向でやり取りしながら情報提供</li><li>・サークル単位で講習・研修し、情報提供</li><li>・健康に関する市独自の認証マーク作成（飲食店 etc.）</li></ul>

実現に必要な取り組み	協働・コミュニティ			
	市民活動・コミュニティ支援	交流	情報共有	人権・男女共同参画・平和
	<div>市民が気軽に集まれる場を設け、お互いを知り合うことを促す</div> <div>・各地区に憩いの場を設け、誰でも集えるようにする</div> <div>（歩いて行ける場所、多目的に使える場、駅の近くに自由に使える場を設ける、巨大な施設でなくてOK、大きな総合施設ではなく、身近で使いやすい場を設けることで、コミュニティの維持につなげる、無料または安く手軽に借りることのできる施設の運営、各地域に集いの場を設ける、東西南北各地に交流センターを設ける、緩い集まり・サロンの場への支援、空き家の活用、市の財政支援）</div> <div>・行政が団体同士のつなぎ役を担う</div>	<div>・引きこもりの人たちに就労場所を確保する</div> <div>・地域で学校でお互いを知る（伝統文化継承事業、異文化の受け入れ）</div> <div>・リーダーの育成</div> <div>・学校を中心とした地域の人との世代間交流事業（保育施設と高齢者施設の交流、継続的に続く、一過性でない交流事業）</div>	<div>全体</div> <div>・情報の信頼性の向上</div> <div>・共通言語を優しい日本語にする</div> <div>・行政サービスを外国人にも行き渡らせる（文書を分かりやすく、相談場所の明示）</div> <div>・新たな情報手段に関心を持つ</div> <div>・伝承文化センターの設立</div> <div>災害</div> <div>・単身世帯の集約化（特別な団地を造る）</div> <div>・各家庭に無線ラジオを設置し、防災や公共に関わる情報を流す</div> <div>・情報センターを設置</div> <div>・駅や大型スーパーに情報発信のディスプレイを設置する</div> <div>・各戸に情報発信のディスプレイを設置する（単身世帯）</div> <div>・広報以外の媒体による情報発信の強化</div> <div>・テレビ埼玉で上尾の番組を放映</div> <div>・防災無線の改善（多言語化による情報共有）</div> <div>・防災マップの精度向上</div>	<div>人権・平和</div> <div>・啓発機会やツールの充実（市民に対する啓発の充実、講演・講座等の定例会の実施、悩んでいる人の電話相談）</div> <div>・(国・人への)思い込みを捨てる(偏見に気付くこと、あいまいな言葉について考える、相手のことを知る、転入外国人の子どもの学校へのスピーディーな受け入れ)</div> <div>・人権や平和について教育に組み込む</div> <div>・性的少数者への正しい理解（学校教育の充実、同性パートナーシップ）</div> <div>・インターネットの便利さと怖さを知る（学校でスマホ教室を充実、学校でSNSの使い方を教える）</div> <div>男女共同参画</div> <div>・学校教育により性差別の根絶を含め、人権を守ることの重要性を教える（性差別の問題を教育に組み込む）</div> <div>・役所の課長ポスト以上に女性を増やす</div>



	協働・コミュニティ			
	市民活動・コミュニティ支援	交流	情報共有	人権・男女共同参画・平和
	<div>市民の声</div> <div>・市民が集まれる場を探す</div> <div>・市民が意見交換をし、大きな声をあげる</div> <div>・コミュニティの場に積極的に参加</div> <div>リーダー養成講座への参加</div> <div>・市民が養成講座に積極的に参加</div>	<div>多様な人・多世代交流</div> <div>・高齢者にサロンへ参加するよう、各班で誘い合いを行う</div> <div>・引きこもりの人との交流</div> <div>・地域に住む外国人との交流</div> <div>市民が考えるイベント・活動</div> <div>・自分たちでイベントを企画して市に提案をする</div> <div>・子どもに関わるところから交流を生む</div> <div>・子どもが市の中で何かできると思えるきっかけを作る</div>	<div>多様な人との情報共有</div> <div>・日本語・英語・ベトナム語の表示ー様々な公共施設で</div> <div>・優しい日本語での情報提供</div> <div>身近な人との情報共有（災害時も含め）</div> <div>・近所の人との情報交換をする</div> <div>・情報提供の心がけ（防災・防犯）</div> <div>・災害時の防災意識を持つ</div>	<div>教育・啓発</div> <div>・人権に関する行事・イベントへの積極的な参加</div> <div>・各家庭での人権意識の教育</div> <div>人権が守られている経験</div> <div>・想像力をもって人に接すること</div> <div>・赤ちゃん・子どものことを大事にする</div>
行政にできること	<div>担い手の育成</div> <div>・市民活動等のリーダー養成講座を実施</div> <div>学校から呼びかけ</div> <div>・地域との交流促進のために学校からの呼びかけ</div> <div>・小学校と各市民団体との交流（団体・地域の課題を児童・生徒と一緒に考える）</div> <div>→具体的な問題意識</div>	<div>交流活動の場の創出</div> <div>・講座・会合など市民が出会う場を創出する</div> <div>・公民館を中心とした集いの場</div> <div>・空き家などを利用し交流場所を作る</div> <div>・市民活動支援センターをもっと使いやすくする</div> <div>窓口の設置</div> <div>・情報センターをつくり市民の問い合わせに答える</div> <div>・団体をバックアップする</div>	<div>団体同士の情報共有</div> <div>・市内の市民活動団体を把握できる仕組みづくり</div> <div>・団体のつなぎ役を市役所が担う</div> <div>災害時</div> <div>・災害ボランティアの養成</div> <div>・地域独自の災害対策を探る</div> <div>・新たな情報発信を考える</div>	<div>女性管理職の登用</div> <div>・人権啓発の一元化（バラバラの予算を一つにする）</div> <div>・女性の地位向上のための施策</div> <div>・積極的な女性登用</div> <div>・女性職員を増やす</div> <div>SNS・相談窓口</div> <div>・小学生にSNSについて教える</div> <div>・子どもを対処にSNS講座の開設と相談窓口の常設</div> <div>・引きこもり対策として相談所を作り、広くPRする</div>

実現に必要な取り組み	行財政運営		
	行政運営	財政運営	公共施設
	<div>スリム化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>外部の民間人材の活用</li><li>I C Tを活用して行政運営を分析</li><li>予防医療（がん検診等）を将来的な扶助費の負担減につなげる</li><li>ワンストップ化</li><li>民間活用（公民連携、NPO の活用）</li><li>事務事業の見直し（業務の効率化）</li><li>人員削減とは限らない</li></ul> <div>協働</div> <ul style="list-style-type: none"><li>地域でできるものは、地域で取り組む</li><li>公助、共助を実行できる体制づくり</li><li>質の高いボランティア（サービス提供者となるボランティアの育成重要、ボランティアの意識啓発）</li><li>司令塔を置き、官民連携を進める</li></ul> <div>透明化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>市民への説明を徹底（タウンミーティングの積極的な実施、業務過程の見える化）</li></ul> <div>多様なニーズへの対応</div> <ul style="list-style-type: none"><li>これまで取り組まれなかったような施策の検討</li></ul> <div>市の足腰強化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>若い世代が子育てしやすい施設を造る</li></ul>	<div>スリム化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>P F I 等民間の財力も活用した施策</li><li>ボランティア団体の活用で出費を抑える</li><li>必要な場に配分し、必要に応じて見直せるルール作りを行う</li><li>事務事業評価（手法の検討、外部組織による評価、客観的な評価、既得権益の撤廃、費用対効果の見極め、スクラップ&amp;ビルド）</li><li>補助金の見直し（使う側の意識も大切）</li></ul> <div>市の足腰強化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>活力ある企業を誘致し、法人市民税を増加させる（会社立地条件を改善し、企業を誘致する、工業特区をつくり、企業を集積する）</li><li>地域産業への行政からの後押し</li><li>人口減を抑制する施策を通じて、市民税収を安定させる</li><li>使用料などを見直し、収入率を上げる</li></ul>	<div>効率的な施設整備</div> <ul style="list-style-type: none"><li>市民サービスの低下を招かないような 効率的な施設の設置</li><li>土地を有効活用し、公園を多く整備する</li><li>統廃合を進める</li><li>複合化、多機能化を進める</li><li>小学校を別の用途で使用するなど、既存施設の転用（施設の再利用）</li></ul> <div>戦略的な施設整備</div> <ul style="list-style-type: none"><li>子育て世代の移住定住を促進するための保育所などの優先的整備</li></ul>

	行財政運営		
	行政運営	財政運営	公共施設
市民にできること	<ul style="list-style-type: none"><li>子育てに関する意識集約</li><li>自治会の強化</li><li>ボランティアの協力（無償で）</li><li>地域の団体（子ども会、〇〇クラブなど）によるイベントの企画（参加）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自治会の強化（リサイクル活動）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>施設活用に伴うボランティア・コミュニティ</li></ul>
行政にできること	<div>行政のスリム化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>スリム化は不要（必要なところに集中して予算を充てる）</li><li>業務の見直し（公民連携）</li><li>民間活力の活用</li><li>人員の効率的な配置</li><li>ワンストップ化</li></ul> <div>協働（ボランティア・民間活力）</div> <ul style="list-style-type: none"><li>ボランティアの今後の在り方について考える必要がある</li><li>ボランティア団体への支援（交通費・報酬）</li><li>有資格者もそうでない人も地域参加できる仕組みづくり</li><li>ボランティア団体の把握</li><li>連携を高める</li><li>ボランティア活動の体制づくり</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>一大イベントの企画</li><li>（仮）上尾の宝保存会グループ活動をまとめる企画（祭り）</li><li>自治体間連携</li></ul>	<div>財政基盤の強化</div> <ul style="list-style-type: none"><li>工業特区を作る</li><li>農業特区を作る（特区制度を活用する）</li><li>地域設備の拡充</li><li>自主財源確保の仕組みづくり</li><li>地域産業の育成</li><li>地域資源の活用（スポーツ施設など）</li><li>施設の活用P Rを図る</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>既存施設の活用</li><li>学校を別の用途で使用する</li><li>小学校校舎内への学童整備</li><li>子育て世代のための公共施設のわかりやすい情報発信</li><li>イベントを実施して施設を活用</li><li>ネーミングライツ</li></ul>



実 現 に 必 要 な 取 り 組 み	防災・防犯・交通安全				
	交通安全	防災・危機管理	消防	防犯	消費生活
	<div>ソフト対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・市からの補助金で自転車用のヘルメット強化（児童用）</li><li>・自転車の乗り方改善（免許制、子ども・高齢者に対する交通安全教室）</li><li>・免許返納者に対する市内循環バスの無料化</li><li>・青パトのスリム化、効率化</li><li>・見守り隊の組織化（市全体、補助金を検討）</li><li>・教員との連携により事故を抑止する</li><li>・自治会、学校などと連携した地域の危険箇所の定期的な把握</li></ul> <div>ハード対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・スクランブル交差点の増加（歩車分離整備工事）</li><li>・街灯の増加、維持管理</li></ul>	<div>ソフト対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ハザードマップの周知</li><li>・地区防災計画の策定（学校と地域が連携して防災計画を立てる）</li><li>・事前復興計画の策定</li><li>・防災教育（体験学習、自治会や学校と連携）</li><li>・情報共有（防災情報の共有、SNS等活用によりリアルタイムで情報発信する職員を配置）</li><li>・有事の際の民間との協力（ショッピングモールなどと協定を結び避難所として活用）</li><li>・防災訓練（消火など母子対象の訓練、避難所までのまち歩き、避難所設営訓練）</li><li>・備蓄倉庫数の公開</li><li>・市と市民の連携（避難所開設時をにらんだ市職員と自主防災組織の連携明確化、市と防災士の連絡再確認）</li></ul> <div>ハード対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・防災用スピーカーの強化</li><li>・防犯カメラの設置</li><li>・避難道路の整備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消防団との連携</li><li>・A E D講習の実施</li><li>・地域交流の推進</li></ul>	<div>ソフト対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・防犯パトロールの充実</li><li>・防犯メールの認知度を上げる</li></ul> <div>ハード対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・街路灯の設置</li><li>・空き家を利用する</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・地産地消の推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・リサイクルシステムの工夫（子どもの服などのリサイクル、制服・バッグ・ジャージ等のリサイクル、リサイクル資材の商品化）</li><li>・食品ロスの削減（食品ロスのシンクタンク、消費者団体と協働するお届けミニ講座）</li><li>・SDGsへの取組（プラスチックごみの削減、ごみの減量）</li><li>・地産地消の推進（野菜などの直売所設置）</li><li>・子ども食堂への支援</li><li>・困った時の窓口明確化（高齢者の買い物サポート、処分事業者の紹介）</li><li>・あげバルの広報活動</li></ul>

	防災・防犯・交通安全				
	交通安全	防災・危機管理	消防	防犯	消費生活
	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通ルールを守る</li><li>・危険箇所を発見した場合、速やかな通報</li><li>・自転車ヘルメットの取入れ</li><li>・学校との連携</li><li>・市へ危険箇所等の意見を伝える</li><li>・青パト・自治会・PTAなどの連携</li><li>・交差点などの見守り</li><li>・見守り隊への積極的参加</li><li>・各町会交通指導員による指導</li><li>・見守り隊パトロール</li><li>・地域・学校などでの安全講習実施、参加</li><li>・見守り隊のボランティア参加呼びかけ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練に参加する</li><li>・訓練の参加</li><li>・地域の方に情報を</li><li>・防災教育（ワークショップ）子供～高校生まで</li><li>・自治会に入っていない人の防災への周知</li><li>・自主防災会の実施</li><li>・平時よりハザードマップ等の周知・確認</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の方、住人、家族構成を把握</li><li>・防災センター活用</li><li>・地域の訓練の参加促進</li><li>・住宅用火災報知機の設置</li><li>・地区消防団の協力</li><li>・消防署の見学（仕事を知る）</li><li>・A E Dなどの使い方</li><li>・A E Dなど講習への積極的参加</li><li>・救命講習に参加する</li><li>・救命講習会を企画する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・家・自転車等の鍵を必ずかける</li><li>・防犯パトロールの強化</li><li>・パトロール等への参加</li><li>・情報共有</li><li>・地域のコミュニケーション</li><li>・町内会の協力（自分たちの町は自分たちで守る）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地産地消の積極的取組</li><li>・地産地消のものを購入する</li><li>・農家との交流</li><li>・直売所の積極的利用</li><li>・ゴミを最低限にすることを心がける</li><li>・ペットボトルやスーパーの袋をマイボトルやマイバックへ</li><li>・リサイクル、寄贈品の活用・提供</li><li>・リサイクル等の参加促進</li><li>・食品ロス（食べ残しをしない）</li><li>・自主的・合理的消費者介助</li><li>・問題意識の共有</li><li>・市民講座への参加、運営への関与</li><li>・お届けミニ講座 消費者団体の積極的参画</li></ul>
行政にできること	<ul style="list-style-type: none"><li>・都市計画で決まった事案の速やかな実行</li><li>・自転車走行帯の整備</li><li>・交通安全教室開催</li><li>・スクランブル交差点の増加</li><li>・高崎線踏切のアンダーパス</li><li>・ぐるっとくんの増加→高齢者、免許返納者</li><li>・免許返納者のサポート</li><li>・市民との意見交換</li><li>・危険箇所の把握</li><li>・自治会・学校との連携</li><li>・警察の協力・参加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地区防災計画の指導</li><li>・事前復興計画も</li><li>・SNS等の情報収集と発信</li><li>・備蓄倉庫の公開</li><li>・地域の防災対策の情報公開、パネル展など</li><li>・職員の防災への知識向上</li><li>・市と自主防災会の連絡</li><li>・ハザードマップの周知・改変</li><li>・避難所運営をマニュアル化</li><li>・災害情報をわかり易くする</li><li>・情報共有の広報</li><li>・民間との連携・周知</li><li>・計画事項の広報</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消防団の取組をPR</li><li>・消防団の入団促進</li><li>・講習の広報</li><li>・大規模災害時の連携強化</li><li>・A E Dマップの作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・警察とも連携してのパトロール</li><li>・パトロールの充実</li><li>・危険箇所の把握</li><li>・防犯カメラの設置</li><li>・空き家の把握と再利用</li><li>・空き家バンクの活性化</li><li>・空き家を作らない</li><li>・街灯とカーブミラーなどの増設</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・食品廃棄物を飼料として活用</li><li>・食品ロスを作らない仕組み(余剰物→フードバンク、こども食堂など)</li><li>・農家と消費者の交流の場の設定</li><li>・農産物直売所設置</li><li>・農産物自宅販売所の情報収集と発信</li><li>・お届けミニ講座 各種地域団体への実施働きかけ</li><li>・市民講座 講座の開催</li><li>・地産地消の促進のためのマイスターなどの認定</li><li>・困ったときの窓口（NPOなどとの連携）</li><li>・直売所を上尾駅出張所隣に新設</li><li>・リサイクル 今のまま</li></ul>

	福祉			
	全体	生活福祉	高齢者福祉	障害者福祉
実現に必要な取り組み	<div><div>・ハンデのある人が普通に生活できるようにする (表に出てこない、福祉を必要としている人の支援、ひとり親や障害者の支援、誰でもアクセスできて人との関わりが持てる場をつくる)</div><div>・体験を伴う福祉の講座</div><div>・福祉をうまく利用してもらう（今あるサービスの認知度向上、「介護サービスを受けるのが恥ずかしい」といったイメージの解消）</div><div>・相談支援体制の確立 (必要な支援機関につなぐコンシェルジュを設置、「相談する力」の向上促進)</div><div>・ボランティアの充実（サービスを必要としている人と提供する人をつなぐ、地域の中でお助けボランティアをつくり、枝切り・草むしり・子守等を有償または無償で行う）</div><div>・引きこもりの人の支援（年齢制限をなくす、金銭的な援助を）</div><div>・1歩外に出たくなるような支援を（市内循環バスの本数増加）</div><div>・働き方の改革（個々人に応じた多様な働き方、就労支援、再雇用支援、一つの仕事を複数人が担う多能工の導入、企業に対する福祉・介護・子育て講座開催、賃金格差の是正、子どもが病気の際に休める制度、育児休暇の取得促進）</div><div>・スポーツ少年団など社会教育団体の充実</div><div>・地域で高齢者が気軽に参加できる場を設ける（地域の安否確認システムの充実）</div><div>・インフラ整備（バリアフリー、車椅子、障害者用のトイレなど）</div></div>	<div><div>・保育バージョンの充実</div><div>・ひとり親のシェアハウス</div><div>・引きこもり支援相談センター等、行政の連携・チームづくり</div><div>・生活保護を受けている人の生活実態調査</div></div>	<div><div>・健康寿命の延伸を図る（ラジオ体操・ウォーキングなどスポーツしやすい環境整備）</div><div>・自立支援（高齢者の自立を支えるサークルの充実、講座の設置、高齢者がオレンジカフェなどの運営者として関われる支援）</div><div>・西口にも東口の「ことぶき荘」のような施設を設ける</div></div>	<div><div>・様々な障害に対して市民の方の理解を深める</div><div>・パラスポーツの普及</div><div>・サービスを利用する当事者の話を聞く</div><div>・空き家の活用（住まいの保障）</div><div>・子どもたちへの啓発</div></div>

	福祉			
	全体	生活福祉	高齢者福祉	障害者福祉
市民にできること	<div><div>・働き方改革 自らがロールモデルになるという意識を持つ</div><div>・（見守り活動）障害者、高齢者、生活</div><div>・近隣の人への気配り</div><div>・地域に参加できる雰囲気づくり</div><div>・サークル活動の活性化</div><div>・できる人ができるときに支援する、声掛けする</div><div>・公的サービス・福祉について積極的に知る</div><div>・福祉サービスの認知度向上のため、SNSを活用して口コミで情報を広げる</div><div>・当事者による発信 状況だけでなく心情なども伝える（不安に思うことなど）</div></div>	<div><div>・社会福祉協議会の活動</div></div>	<div><div>・認知症当事者によるオレンジカフェの運営</div></div>	
行政にできること	<div><div>・組織・団体の横のつながり支援</div><div>・中学校区に一つくらいの相談の場</div><div>・相談支援体制の確立</div><div>・福祉相談員のワンストップ窓口の設置</div><div>・多世代が交流するイベントの企画、市民主体で開催する</div><div>・地域サロン（誰でも気軽に行けて孤立しない）の立ち上げ支援（場所、資金、ボランティア養成）</div><div>・アッピー体操 介護予防教室等健康寿命を延ばす講座の充実</div><div>・市内全域の支えあい活動の育成と支援</div><div>・ボランティア（民生委員、福祉委員）</div><div>・地域の助け合い（隣近所）</div><div>・地域スポーツ協会、サークル活動の充実、参加</div><div>・福祉制度やシステムについてわかりやすい言葉で広報・周知する</div><div>・タウンミーティングなどの開催</div><div>・大人の引きこもりの担当課を設ける</div><div>・引きこもり支援の予算化</div><div>・引きこもりの方が集まる場、相談の場を作る</div><div>・様々な状態の人への就労支援（相談～定着まで）</div><div>・中途採用の支援</div><div>・情報弱者へのフォロー</div><div>・福祉サービスの認知度向上のため、広報だけでなくタウン誌等へ記事を掲載</div><div>・働き方改革を市内企業に働きかける</div><div>・市の職員も取り組みをしてアピールする</div><div>・バリアフリー、インフラ整備</div><div>・歩道の整備</div><div>・市内循環バスの本数増加</div></div>	<div><div>・生活福祉に関する市民講座の開設</div><div>・行政の仕事を就労支援の一部として活用する</div></div>	<div><div>・オレンジカフェのサポート</div><div>・障害者・高齢者との触れ合う機会を作る</div></div>	